

夢みるこども 基金だより



イメージキャラクター
はミンゴ・はっくん

発行：夢みるこども基金事務局
〒814-0104 福岡市城南区別府 1-21-6 アストア別府 801号
TEL.092-400-0005 FAX.092-400-0339
E-mail jimukyoku@yumemirukodomo.jp
HP <https://www.yumemirukodomo.jp/>

No.27

2022年(令和4年)11月7日第27号

夢みるこども基金 検索



●神奈川県横浜市にある
こどもホスピス
「うみとそらのおうち」

「うみとそらのおうち」 (神奈川県横浜市)

2022年8月6日、『認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト』が運営している「うみとそらのおうち」を訪れ、代表理事の田川尚登さんにお話を伺いました。

神奈川県横浜市内金沢八景駅のすぐ近く、そばに海があり、見上げると空が広がっている。そんな場所に、「うみとそらのおうち」があります。ここは、日本で2番目の「こどもホスピス」として、2021年11月に開設しました。小児ガンや心疾患など、重い病を抱えるこどもたちとその家族のための施設です。

夢みるこども基金は、新型コロナウイルス感染拡大のため2020年からイベントが実施できない状況が続いています。そんな中でも、何かこどもたちのために出来る事がないだろうかと考え、今年度はこどもたちのために活動をしている『認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト』へ50万円、バン格拉デシユの『夢みるこども基金学校』へ30万円の助成金を支援しました。

コロナ禍でイベントは今年度も中止 イベントの代わりに2団体の活動に助成金支援



イメージキャラクター
はミンゴ・はっくん

夢みるこどもキャンペーンの流れ

歯科医院
(患者様同意)や
個人の方が
不要になった
金属冠を寄付
回収は無料です

集まった金属冠を
金属塊に再生後
換金

換金された
リサイクル益金は
こどもたちの夢の実現
被災地や福祉の支援
海外支援に役立ちます

10月と11月が金属冠定期回収月間です

ご入会について

協力歯科医院の**お申し込みは随時受け付け**ています。11ページの登録用紙を切り取り、FAXにて送信してください。HPからもご登録頂けます。**登録費、年会費はございません。**
ご入会頂くと、直ちにポスター、回収箱(木箱・内ボトル1個)をお送りします。
内ボトルに金属冠を貯めて頂き、基金事務局までお送りください。

金属冠は随時受付中

※送料は基金負担で回収いたします!

金属冠の回収は年間を通して受け付けていますが、特に**10月と11月を定期回収月間**としています。

少量しか貯まっていなくてもかまいませんので、

(基金事務局 092-400-0005)

へ電話してください。集荷申込はFAXでも可能です。

(事務局 FAX 092-400-0339)

歯科医院名、お電話番号、集荷希望日(翌々日以降)をご記載下さい。折り返しご連絡致します。

国税局の指導の下 運営しています

夢みるこども基金は金属の回収を正確、適正に行うために、金属冠は基金に直接送って頂いています。基金は設立時から国税局の指導を受けながら業務を進めており、協力歯科医院に対しては毎年度「夢みるこども基金だより」と一緒に決算書などを送付しています。金属冠を送って頂いた歯科医院などについては、その都度受領証と感謝状を送り、基金備え付けの帳簿に受け入れ年月日、重量などを細かく記録しています。課税関係などで問題が生じた時にも対応出来るようになっていますのでご連絡ください。

編集 後記

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、現在も生活の様々な面で制限がかかっています。このような状況下で、第二線の現場で活動されている医療関係者の皆様に感謝いたします。コロナウイルス感染症による制限は、我々夢みるこども基金も例外ではありませんでした。今年こそ、こどもたちを呼んでイベントを再開したかったのですが、泣く泣く中止を決定しました。2年半前の第一波と比較すると、対策や対処法が蓄積されつつあり、徐々に前の生活に近づいているように感じます。新たな変異株や感染拡大など、予断を許さない状況ではありますが、来年こそは、こどもたちを集めて夢を叶えるイベントを実施したいと思っています。

夢みるこども基金はこれまで28年間、こどもたちの夢を応援するイベントを実施してまいりましたが、2020年以来、3回のイベントを中止せざるを得ないという状況は、基金にとつて初めてのことで、なかなかうまく対応する事が出来ませんでした。新型コロナウイルス感染症の感染拡大から3年が経とうとしています。新たな生活様式をイベントに応用できないか検討しているところで

す。そのひとつとして12月に対面・オンラインのハイブリッド形式でのこども会議を開催する予定です。時代の変化に適応し、今後も基金としての活動を続けて行きたいと考えています。とはいえ、やはり対面で、こどもたちの夢を聞きながら、様々なイベントを実施したいというのが本音です。来年こそは、こどもたちと出会い、語り合える、イベントが出来ると信じ、今後の活動様式についての検討を続けてまいります。

最後になりますが、夢みるこども基金は、全国の歯科医院のみならず、ご協力を賜り、28年目を迎えることができました。ありがとうございます。今後も、こどもたちの夢をかなえるイベントを続けて行きたいと考えております。

夢みるこども基金OB・OG会副会長
常任理事、理学博士 岡部 憲和





▲代表理事 田川尚登さん



▲田川さんの二女・はるかさん

「うみとそらのうち」の設立には、田川さんご自身の経験が大きく影響しています。1997年の夏、二女のはるかさんが6歳になってすぐの時に悪性脳腫瘍と診断され、余命半年と宣告されました。主治医から「家族で楽しい時間を過ごすこと」と言われ、はるかさんが好きなことをしようとした。入退院を繰り返しながら、鼓笛隊のピアノの練習、ペットのハムスターの飼育など、ご家族ではるかさんのやりたい事に取り組みました。そんな中、診断後5ヶ月の頃、はるかさんの希望で千葉の鴨川へ一泊二日の旅行



▲施設にある大きなお風呂

き、満足して帰宅したその翌日に容態が急変。呼吸が停止し、人工呼吸器が付けられました。その2週間後、田川さんとご家族は呼吸器を外す決断をします。田川さんは、この大きな決断が出来たのは、主治医だけでなく麻酔科の医師の寄り添いが非常に大きかったと言います。医療的な話だけでなく、同じ父親の目線で決断についてどう考えているかなど、親身になって寄り添ってもらいました。終末期のことも持つ家族にとって心強い存在でした。

ティーンコンサート、院内コンサート、預かり保育といった活動に取り組み、2008年には、神奈川県立こども医療センターに「リラのいえ」という滞在施設を開設しました。

そんな活動をする中、生前に看護師をされていた石川好枝さんという方から、遺贈がありました。石川さんは、生前、脳性麻痺のこどもたちの看護する中で、そうしたこども達の育成の場所が必要だと考えるようになり、こどもホスピスを作ってほしいという願いを遺書に記していました。

田川さんも、過去の経験から、終末期にこどもホスピスがあれば、もっと充実した時間が送れるのではないかと考えるようになっていました。当時のスマイルオブキッズの中でたぐさんの協議を重ねた結果、新たに「こどもホスピス」を担当する法人を設立。その後、チャリティーコンサートや募金活動を進め、建設費用を集めました。それと並行し、横浜市や大学、医療機関と協議を進め、運営するための基盤を作っていました。そして昨年11月に「うみとそらのうち」が開設されました。



▲家族全員で寝ることが出来るベッド

3部屋あり、家族全員で入ることの出来る大きなお風呂や川の字で寝ることの出来るベッドがあります。小児ガンでこどもを失ったご家族へ「終末期のお子さん」のように過ごしたかったか」と尋ねると、「同じベッドでお風呂に入りたかった」という回答が多いそうです。「うみとそらのうち」はそういった言葉を受けて、利用者の希望が叶えられる作りになっています。

こどもたちが夢中になって遊び、病院ではなかなか見せない表情を見せ、それを見たご家族も安心して過ごすことが出来るのです。

師やスタッフが、医師の意図していることを説明してご家族の疑問に答える事で不安を解消しています。

最近、地域の方々との結びつきも強まっています。地元横浜市のソプラノ歌手や地域の有志らが企画してクラウドファンディング等を実施し、こどもホスピスのこどもたちにメリーゴラウンドを届けてくれました。

「ホスピス」と聞くと、お別れの間と感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、こどもホスピスは、終末期であってもこどもの成長や発達を実感出来る、こどもの命が輝ける場所です。そして、病を抱えるこどもだけでなく、両親や兄弟姉妹といった家族、それを取りまく周囲の方々、地域の方々にとっても大切な場所です。

最後に、夢みるこども基金として寄付以外に何か出来る事はないか田川さんに伺いました。まずは、「こどもホスピス」という言葉を知る事がひとつの力になるそうです。ぜひ、基金だよりを手にとられた方も「こどもホスピス」について、調べてみて下さい。

夢みるこども基金OB・OG会副会長
常任理事、理学博士
岡部 憲和



▲校内で遊ぶこどもたち

『夢みるこども基金学校』

基金学校ができてから20年以上がたちました。夢みるこども基金や地域住民、様々な支援団体の協力で100人の小学生で始まった学校は、その後、中学校や高校まで出来て生徒数も1400人以上になりました。卒業生の多くは国立大学や有名な私立大学に入学し、立派な社会人になりました。毎年十数人の学生は、ダッカ大学（日本でいう東京大学や医科大学、工業系の大学に入学しています。大学卒業後は地元に戻り、基金学校の教員や医者として近

くの病院で働いている人もいます。

現在学生数は1439人（女子651人）で、第9学年から理系と文系に分かれ、希望の専門分野に進みます。教員数は42人（女性教諭13人）、その他の職員8人（女性6人）です。

バン格拉デシュでは中学校と高校の卒業試験は教育委員会主催で、基金学校の生徒は毎年全員卒業し、その内60、70%はAプラスの好成績です。また、基金学校は開校以来、

県内で一番の学業優秀校として評価されています。基金学校に入学させたいと希望している保護者が毎年増加し、農村部から学校周辺に引っ越してくる人も少なくない状態です。

学業だけではなく、課外活動でも素晴らしい成績を収めています。作文、イラスト、ダンス、歌、クイズ、スピーチコンテストなど様々な分野で、県内はもちろん、全国的にも高く評価され、教育大臣や官房副大臣から表彰され、地域のモデル校となっています。

しかし、課題も沢山あります。基金学校の目的の1つは、他の学校と手をつなぎ、共に考え、共に進歩していく事です。しかしこの作業が簡単ではあ



▲図書室で学ぶこどもたち

りません。他の学校の教員のモチベーションや実力が重要です。これまで少しずつ広がっていますが、まだまだ満足出来るようなものになっていません。課題解決の教育、アクティブラーニングなどをいかに導入するかが今後の大きな課題で、すでに教員の研修も始まっています。

来年度、生徒数を今の1400人から1700人に増やしたいと考えています。数だけではなく、質も同時にアップして行

きたいです。地域住民からも期待されています。生徒の増加と共に図書館などの設備拡充が必要で、今回夢みるこども基金より頂いた助成金を使わせて頂きます。関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

「夢みるこども基金学校」
日本側窓口
ラフマン・モクレスール

歯医者さんありがとう企画

森永歯科医院 （千葉県安房郡） 森永 宏喜先生

夢みることも基金は設立から今年で29年目を迎える事ができました。今まで30年余り、多くの歯科医院の皆様からご支援を賜り、全国のことでもたちの夢を叶えるイベントを実施することが出来ました。本当にありがとうございます。

ここ数年は新型コロナウイルス感染拡大のため、協力して下さっている歯科医院へお伺いする事が出来なかったのですが、



▲タイのフリークリニックで診察する森永先生

今年は4年ぶりに再開出来ました。

2022年8月27日、千葉県安房郡の「森永歯科医院」(院長・森永宏喜先生)にお伺いしました。東京駅から電車乗り継いで約2時間、千葉県南西部の安房勝山駅前に歯科医院はあります。



▲タイの子どもたちと

ボランティアは「自分がさせてもらうもの」人との縁を大切にしながら、様々な支援活動に参加

森永歯科医院は1996年以来現在まで25年間に渡り、夢みることも基金へ金属冠の寄付をして下さっています。この記事を書いている私自身も、2004年から2006年の小学6年生から中学2年生までの3年間、夢みることも基金のイベントに参加していました。森永先生に夢を応援して頂いたことも一人です。

歯科医院に到着すると、森永先生やスタッフの方々に温かく出迎えて頂き、緊張もほぐれました。院内には、夢みることも基金から森永歯科医院の患者の皆様宛に送った感謝状が飾ってありました。また、これまでの基金日より等がファイリングして保存され、金属冠回収箱も設置されていました。お話を伺っていると、森永先生だけでなくスタッフの皆様も我々の事をよく知って下さり、基金の活動にご支援下さっているのだと強く感じました。

また、森永先生は夢みることも基金だけでなく、沢山の支援活動をなさっています。海外のタイでのフリークリニック、東日本大震災や熊本地震への支援活動、また千葉県での台風15号被害の支援活動など、その活動は数多に渡ります。いずれの活動でも、森永先生とスタッフの皆様が実際に足を運んで活動をされており、所属されている学会

や関連する雑誌へ被災地の状況を報告されるほか、ご自身のブログでも様々な活動について発信をされています。

森永先生に「なぜ、いろいろな活動をされるのですか」と尋ねてみました。森永先生は真剣な表情で「ボランティアって、『何かをしてやる』という気持ちでされている人もいると思うのですが、実際にやってみると『自分がさせてもらうものだ』という考えになるのです。何かの支援をする、それが縁になって人と繋がったり、そこでは何もなくても、別の場所で偶然の繋がりがあったり。他にも経験が後に活かされたりします。実際、東日本大震災の支援をした後に、自分たちの住む千葉県が台風被害にあいました。この時、被災地での支援経験のおかげで自分たちの動き方がわかったのです。活動によって縁が生まれ、それが後に活かせる経験は、基金で活動が続いている私自身もよく感じていた事だったので、とても共感出来ました。そして、そんな気持ちを忘れずに今後の基金の活動を続けなければいけない」と、改めて実感しました。その後、先生から事前にリクエストして頂いていた基金の活動紹介をさせて頂き、取材を終えました。

森永先生のように、基金の活動に関心を持ち、期待して下さり、協力して下さっている歯科医院の先生、スタッフの皆様が全国に沢山いらっしゃると思います。今回の訪問では、そんな方々



森永宏喜先生から
「夢みることも私たちへ
メッセージ」

皆さんこんにちは。私は千葉県で歯科医院の院長をしています。皆さんのおじいさん、おばあさんと同じくらいの年齢だと思います。人は誰でも、夢を持つ事が出来ます。でも、どんな大きな夢でも持つていい!というのは、君たち子どもにしか許されません。子ども基金に協力している歯科医師は、そんな皆さんを全力で応援したいと思っています。まわりの大人たちが「えーそんなのムリ!」と思うようなでっかい夢を、どうぞ追いかけて下さい!!

夢みる子ども基金 座談会

「夢みる子ども基金について」中原淳一理事、岡部憲和理事、長尾裕美理事、夢みることも基金OB・緒方太郎君の4氏に語り合ってもらいました。

基金の今後と活動について

長尾「今後ゼロにはならないと思いますが、歯科医療現場では保険内診療でプラスチック製の白い奥歯が入られるようになり、今後は金属を入れる人は減っていくと思います。今後の基金の運営を心配しています」

中原「振り返ると数年前にも基金の財政が大変だという時期がありました。が何とか乗り越えて来ました。しかし、今回は歯科の現場から金属が減るという事で、基金の根本的な基盤がなくなってしまうかもしれないという事ですね」

岡部「数年前も財政的に危機的状況になりましたが、古市事務局長が『絶対に好転する』と強く言われていて、行動された結果、危機を乗り越えました。精神論なのですが、僕自身、基金は大丈夫だ



と思っています。財源が変わったりするかもしれませんが形を変えつつ存続するのだと思います。僕は小中学生時代、基金も含め沢山のコンクールに作文を応募して来ました。大人になり、当時のコンクールは続いているのかどうか調べてみると、大手の新聞社や出版社主催のコンクールでも第20回や第25回で終了して、そんな中、基金は継続してコンクールを開催し(今年で29回目)粘り強く活動をしているので歴史があります。長く続けているので応援したいという人が多いのではないかと思います。今後基金は大丈夫と信じています」

中原「決まった内容のイベントをしなくというの強みかもしれません。その時代に合った内容規模でイベントを行えるのは基金の良い所です。第1回目の熊本県・阿蘇のイベントは全国規模で参加者も何百人単位で開催しました。一方、ここ数年のイベントは規模を縮小し参加者も数十人単位ですが、通じている気持ちはずっと一緒です。集まる金属冠に関しては、すぐにはゼロにはならないと思いますが、新たな金属冠を入れる人が少なくなれば、そのうち集まらなくなるかもしれません。猶予のある間に色々な事を考えて行かなければならないと感じています」

長尾「基金の参加者や関係者も年を取り、進学・結婚・出産などライフスタイルが変わっていく中、離脱せずにこれ

イベントや子ども会議の あり方について

緒方「参加者で遠方の方などはイベントにオンライン参加してもらってもいいのではないのでしょうか」

中原「オンラインでホールでのイベントの模様を見てもうというのには可能ですが」

長尾「数年前の財政が厳しい時期に『子ども会議』がなくなりましたが、子どもたちの意見を直接聞く場は必要だと思います。子ども会議をオンライン開催にしてはどうでしょうか。経費も少なくて済むし、顔合わせの場にもなりません」

中原「名案だと思います。福岡市内のことなどは集まってもらって、それ以外の方はオンラインで参加してもらう形がいいのではないのでしょうか」

岡部「賛成です。特に今の子どもたちはコロナ禍でオンライン授業なども経験していると思うので、みんな抵抗はないと思います」

緒方「イベントの開催時期が夏休みから春休みに変わった事は大きいなと思います。イベント前夜祭に行っていたスイカ割りなんかはすごく楽しかった。夏ならではの楽しみだと思います。『基金の森も夏と春とは雰囲気も違うのではないかと思います』

長尾「開催時期に関しては次回、試験的



に春休みに行ってみて、開催時期をまた検討してもいいかもしれませんね。また、オンラインを活用して、イベントでバン格拉デシユのことたちと交流の場を増やしたりどうでしょうか。バン格拉デシユの公用語であるベンガル語を教えるのもうとか、貴重な経験になるのでは。オンラインで必要な機材などを一度揃え、今後色々活用出来るのではないかと思います」

中原「第30回イベントで大同窓会みたいなものが開けるというですね。子ども会議がオンライン開催になるなら、イベントでは色々な実体験を子どもたちにさせてあげたいです。古民家に泊まる体験やキャンプや飯盒炊爨なども良いと思います」

思い出深いイベントは――

緒方「初めて参加した第18回(2012年)が思い出深いです。星空の観察と古民家宿泊が新鮮で、とても楽しかったです」

岡部「僕は第10回(2004年)の記念イベントと第11回(2005年)が思い出深いです。第10回は参加者が多く沢山の人と交流しました。また、第11回は地震で被災した新潟・山古志と福岡・玄界島の子どもたちと熊本県阿蘇の地元の人達の家に子どもだけでホームステイしました。皆さんすごく親切で、温かく歓迎されたことを覚えています」

長尾「私はやはり初めて参加した第1回(1995年)です。阪神淡路大震災で両親を亡くしたこともたちと一緒に熊本県阿蘇にホームステイして交流しました。今でも思い出すのは、震災で両親を亡くした吉田綾香ちゃん、一緒にいてそれまで『言もしやべらなかつたに、阿蘇の水を一口飲んで』『あー、美味し!』と言った事。その時の事を忘れません」

中原「基金のイベントは参加した人たちに感動を与えていると思います。数年前、盲導犬訓練士の方がイベントに

参加され壇上で感動して涙され、私も胸が熱くなりました」

岡部「基金の良い所は、子どもたちがしてみたいと言った事がちゃんとイベントに反映されることだと思います」

中原「イベントの内容を話し合うことも会議の司会者としての心がけていることは、子どもたちの意見を引き出して、イベントで実現可能な形に出来るかどうかという事。だから、子ども会議にはなるべく沢山の子どもに参加して欲しいです。これからも、イベントを通して子どもたちの夢を実現させて行きたいですね」



▲第4回コンサート(大阪市で開催)

夢みる子ども基金を支える会(会長・嶋田英敏 主催の「夢みる子ども基金チャリティーコンサート」が、第3回コンサートは2022年5月29日(福岡市・ふくふくホール)、第4回コンサートは2022年10月14日(大阪市・大阪歴史博物館 講堂)に開催されました。

コンサートでは岡部知剛先生(夢みる子ども基金理事長・歯科医師)のテノール独唱と、ピアニストの田中正也さん、ヴァイオリンの庄野美鈴さん、第3回に出演の演奏が会場を魅了していました。

コンサートの収益金は夢みる子ども基金に寄付されました。子どもたちのために使わせて頂きます。ありがとうございます。



最優秀賞

相田 一乃さん
神奈川県
横浜市立元街小学校
2年 (入賞当時)



みんなできょだいカステラをたべたい!

わたしのかなえたいゆめは、コロナでじつげんできなかつた、ききんのイベントにさんかすることです。絵にかいたのは、イベントできょだいなカステラをみんなと一いしょにおなかいっぱいいたべているところです。

絵の部



優秀賞

窪田 結衣さん
東京
多摩市立多摩第一小学校
4年 (入賞当時)

自然の中でくらす

しょうらい自然豊かなところに住みたいので、動物や植物を描きました。



優秀賞

西山 歩那さん
福岡
福岡雙葉小学校
4年 (入賞当時)

空を飛びながら本をよみたい

空中を飛びながら本をよんでみたいです。

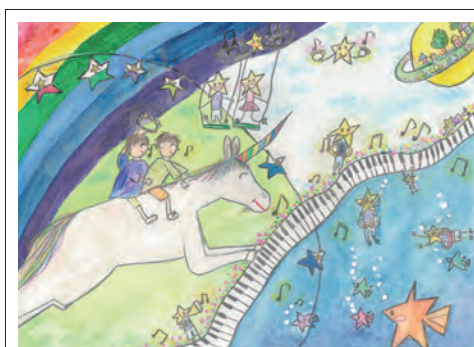


優秀賞

大津 菜月さん
福岡
明治学園小学校
1年 (入賞当時)

いんこのおいしゃさん

どうぶつのおいしゃさんになって、インコをみています。

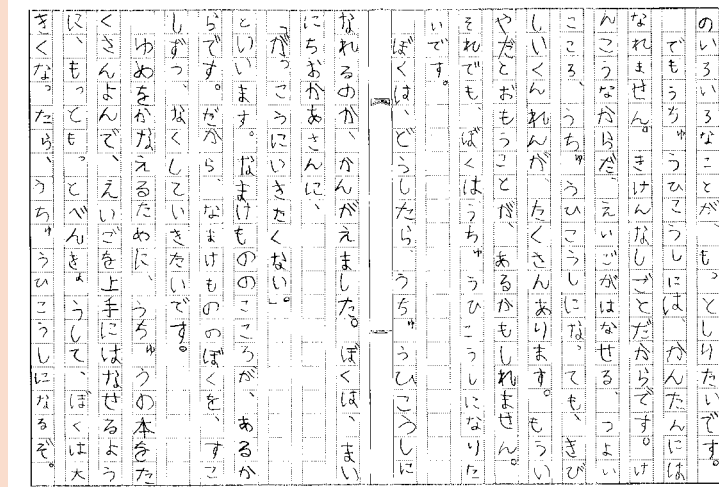


優秀賞

麦生田 侑詩さん
鹿児島
出水市立米ノ津東小学校
2年 (入賞当時)

伝説のユニコーンと冒険へ出る

伝説のユニコーンに乗って、地球の外の世界に冒険へ出て、見たことのない世界を見てみたい。



優秀賞

白水 莉緒さん
福岡
福岡市立城南中学校
2年 (入賞当時)

「私の夢」

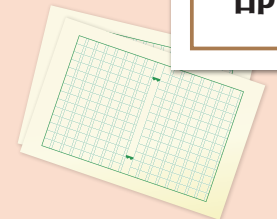


優秀賞

森川 葉月さん
熊本
熊本市立楠中学校
2年 (入賞当時)

私の夢

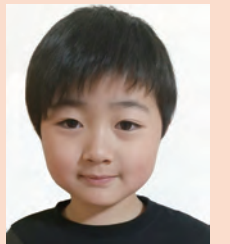
作文の部



最優秀賞

倉持 優磨さん
福島
西郷村立米小学校
1年 (入賞当時)

ぼくのゆめはうちゅうひこうし



《絵の部 20 名》

	氏名	都府県名	学校名	学年	※学年は入賞当時	題名
最優秀賞	相田 一乃	神奈川県	横浜市立元街小学校	二年		みんなできょだいカステラをたべたい!
優秀賞 (4名)	窪田 結衣	東京	多摩市立多摩第一小学校	四年		自然の中でくらす
	西山 歩那	福岡	福岡雙葉小学校	四年		空を飛びながら本をよみたい
	大津 菜月	福岡	明治学園小学校	一年		いんこのおいしゃさん
	麦生田 侑詩	鹿児島	出水市立米ノ津東小学校	二年		伝説のユニコーンと冒険へ出る
特選 (5名)	上村 咲聖	福岡	明治学園小学校	三年		すべてのびょうきをなおすくすりの開発
	川端 悠心	大阪	池田市立石橋南小学校	六年		願い
	西山 湊一郎	福岡	福岡市立平尾小学校	二年		アイアンマンになりたい
	宮原 林鈴	福岡	福岡市立警備小学校	二年		にどここの先生
入選 (10名)	邵 軒	福岡	明治学園小学校	二年		うちゅうたんけん
	米倉 透真	熊本	熊本市立力合小学校	三年		三つ星シェフになりたい
	川畑 温大	福岡	福岡市立高宮小学校	一年		うちゅうひこうしになりたい
	永塚 由乃	東京	中野区立中野第一小学校	一年		わたしのゆめ「おはなやさん」
	代居 愛梨	福岡	明治学園小学校	二年		きらきらがやかくおいしゃさん
	床嶋 快斗	福岡	福岡市立巻小学校	二年		ワクワク水ぞかん
	今 晴香	福岡	明治学園小学校	一年		公園のお花をきれいにするわたし
	内田 好香	福岡	明治学園小学校	一年		ごぼろいろになりたい
	藤原 朋生	福岡	明治学園小学校	三年		アンキロサウルスをつかってみたい
	堂本 千晴	福岡	北九州市立徳力小学校	四年		プリンセスガールアイドルとうじょう
	保里 嶺士	福岡	北九州市立江川小学校	一年		夢は宇宙飛行士

《作文の部 20 名》

	氏名	都府県名	学校名	学年	※学年は入賞当時	題名
最優秀賞	倉持 優磨	福島	西郷村立米小学校	一年		ぼくのゆめはうちゅうひこうし
優秀賞 (2名)	白水 莉緒	福岡	福岡市立城南中学校	二年		「私の夢」
	森川 葉月	熊本	熊本市立楠中学校	二年		私の夢
特選 (5名)	荻田 夏叶	大阪	大阪市立島島小学校	六年		宇宙へ飛び立つ
	古賀 香澄	福岡	福岡市立警備小学校	五年		「一人でも多く救いたい」
	堀 葵響	宮崎	宮崎市立西池小学校	六年		きつ音から教えてもらった僕の夢
	横山 虹呼	宮崎	宮崎市立西池小学校	五年		私のかなえたい夢
	中島 菜和	熊本	熊本市立楠中学校	二年		今は弱いけど
入選 (12名)	大貫 翔空	東京	江東区立深川小学校	四年		チャレンジ
	原田 佳知	福岡	北九州市立吉田小学校	五年		自然かいの昆虫をすくいたい
	鍋島 さやか	熊本	熊本市立楠中学校	二年		私が獣医師になりたい理由
	西川 直太朗	福岡	福岡市立城南中学校	二年		ずっと音楽とともに
	宮川 彩未	福島	西郷村立米小学校	二年		ワクワクカフェ
	迫間 太洋	鹿児島	鹿児島市立南小学校	六年		世界中の本を読みみたい
	平田 花梨	福岡	福岡市立城南中学校	一年		笑顔が見たい、ただそれだけ
	中杉 雷輝	福岡	北九州市立城南中学校	二年		私の将来の夢
	上野 めい子	福岡	北九州市立吉田小学校	三年		わたしのかなえたいゆめ
	太田 風飛	福岡	北九州市立江川小学校	四年		ぼくのしょう来のゆめ
	鶴原 実玖	福岡	福岡市立早良中学校	二年		私の叶えたい夢
	児玉谷 璃子	鹿児島	鹿児島市立南小学校	六年		みんなに役立つ家を



第21回



第16回



第25回

第24回
2018.7

**耳の不自由な人のために
聴導犬を育てたい**
小学生の作文をメインテーマに長野県から聴導犬2頭を招いて犬のトレーニングを見学。盲導犬も加わり「触れ合いコーナー」も開かれ募金も行った。

第25回
2019.8

新時代の基金が目指すもの
過去のイベントに参加した3人の代表が基金との思い出などを語り、今後の基金のあり方などについて提案をした。ラーメン作りも行った。

第26回
2020.7

イベント中止・盲導犬を寄贈
新型コロナウイルスの感染拡大で夏のイベントは中止となった。協力歯科医院の先生方から基金に寄せられた浄財を形にするために、九州盲導犬協会に4頭目の盲導犬「はっくん4号」を贈った。

第27回
2021.8

イベント中止・3団体に助成金を支援
新型コロナウイルスの感染拡大で夏のイベントは中止となった。協力歯科医院の先生方から基金に寄せられた浄財を形にするために、熊本県益城町のこども地域食堂「はなえみ食堂」、宮城県女川町の「女川1000年後のいのちを守る会」、福岡市城南区の「福岡大学病院・小児病棟」の3団体に助成金各50万円を贈った。

第28回
2022.3

イベント中止・2団体に助成金を支援
新型コロナウイルスの感染拡大でイベントは中止となった。協力歯科医院の先生方から基金に寄せられた浄財を形にするために、認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト「うみとそらのおうち」へ助成金50万円、バングラデシュの「夢みるこども基金学校」へ助成金30万円を贈った。



第10回



第19回



第24回

第14回
2008.8

地球を守るために『こども隊』出動
地球環境保護をテーマに「環境こどもサミット」を開き、佐賀県内の国有林に「夢みるこども基金の森」を開設することや「環境こども新聞」の発行を決めた。

第15回
2009.8

松林の中で環境音楽祭
福岡市と佐賀県唐津市で開催。福岡市中心部の公園などの清掃活動後、唐津市・虹の松原国有林で「環境音楽祭」を開催。唐津市内の4高校のブラスバンド演奏などで盛り上がった。

第16回
2010.8

「夢みるこども基金の森」開設と「命」をテーマにしたイベント
佐賀県・脊振山系に「夢みるこども基金の森」を開設。翌日は福岡市内で「命の現場をみつめて」をテーマにホスピス病棟などの慰問をした。

第17回
2011.7

東日本大震災被災地と結ぶ絆～こどもシンポジウム～
宮城県女川町の中学生4人と教師を招き、「こどもシンポジウム」を開催。震災への対応や、新エネルギーなどについて話し合い「こども宣言」として発表した。2011年末に3頭目の盲導犬を寄贈した。

第18回
2012.7

夢と宇宙と森と
佐賀市三瀬村にある、かやぶき屋根の「やまびこ交流館」で星の観望会、蚊帳での宿泊体験。「夢みるこども基金の森」で林業体験、秘密基地作りを通して自然を学んだ。



第2回



第5回



第6回

第9回
2003.8

日本の心をイラクの子供達へ
日本古来の玩具(竹とんぼ、コマなど)やパッチワーク作りをした。教材費を添えてイラクのこども達に贈った。

第10回
2004.8

こども達が結ぶ10年の夢
福岡市で開催。1～10回までのイベントに参加したこどもたちが基金の「10年のあゆみ」を振り返り巨大な貼り絵を作った。盲導犬の歯科検診も行った。

第11回
2005.8

キャンペーンのふる里で新潟・山古志、福岡・玄界島の友と交流
地震で被災した新潟と福岡のこどもたちを熊本県阿蘇に招待して交流。ホームステイなどを通じて友情を深めた。

第12回
2006.7

いつか笑いがモノを言う～人生は笑顔から～
絵本の読み聞かせやマジックショーなどを行った。ドイツで心臓移植手術を受ける少女のために募金の応援をし、基金からも寄付金を贈った。

第13回
2007.8

夢と希望をメロディーに乗せて～こども音楽祭～
こどもたちの歌の合唱、盲学校生の太鼓演奏、居合道などで交流を深めた。また、こどもたちとアグネス・チャン理事が福岡西方沖地震で被災した玄界島も訪問した。

第4回
1998.7

夢の放送局
福岡市・キャナルシティ博多にて「夢の放送局」を設け、こども達がそれぞれの夢と音楽を発信。「夢みるこども基金学校」の募金も行った。

第5回
1999.8

ケーキがつなぐ友情の輪
熊本県南関町で大きなケーキ作りに挑戦。出来上がったケーキを児童養護施設へプレゼントした。第1回のイベントのこどもたちも参加した。

第6回
2000.8

アフリカの大地に根付けこども達の願い
福岡県宇美町の農家で開催。内戦で苦しむスーダンへ食物の種子を収穫し、現地へ送った。

第7回
2001.8

バリアフリーの社会を作ろう
こどもシンポジウムを開催。バリアフリーについての意見を小泉首相や行政機関に届けた。また、九州盲導犬協会へ盲導犬1頭を寄贈した。

第8回
2002.8

世界のこども達と交流
福岡市・ベイサイドプレイス博多で開催。「歌・踊り・食・遊び」を通じて国際交流を行った。食事のチケット代を留学生に寄付した。



イメージキャラクター
はミング・はっくん

第1回
1995.7

阿蘇こども出会いの里
熊本県阿蘇に阪神淡路大震災で両親を亡くしたこどもたちを招き交流した。

第2回
1996.7

阿蘇こどもみどり村
熊本県阿蘇で開催。筋ジストロフィーの少年バンドを招き、アグネス・チャン基金理事とジョイントコンサートなどを行った。

第3回
1997.7

世界のこどもと手をつなごう
バングラデシュ・カラムディ村から教師と子供3人を招き「夢みるこども基金学校」の建設資金を贈った。

1995年
▼
2022年

これまでの夢みるこどもキャンペーン 夢の実現イベント

夢みるこどもキャンペーン 夢実現プロジェクトの流れ

- 1 作文・絵の募集**
(7月中旬～9月中旬)
毎年7月15日～9月15日まで「夢」をテーマに作文と絵を募集します。
- 2 審査**
(10月中旬)
理事・役員たちによる厳選な審査。
- 3 「こども会議」開催**
対面・オンラインのハイブリッド形式
- 4 夢の実現イベント開催**
(春休み)
作文・絵の上位入賞者を福岡市などで開催予定の夢の実現イベントにご招待

ご協力頂いている 歯科医院数 (都道府県別) 全国合計 1,012件 令和4年4月1日現在 新規ご協力歯科医院	福岡県	235件	兵庫県	30件	大阪府	14件	長野県	10件	島根県	4件	鳥取県	1件
	東京都	142件	大分県	30件	宮城県	14件	群馬県	9件	福井県	4件	富山県	1件
	神奈川県	43件	熊本県	26件	青森県	13件	岡山県	8件	徳島県	4件		
	埼玉県	37件	佐賀県	24件	沖縄県	12件	栃木県	7件	滋賀県	4件		
	鹿児島県	36件	福島県	22件	香川県	12件	愛媛県	6件	奈良県	3件		
	山口県	32件	宮崎県	19件	静岡県	11件	山形県	5件	京都府	3件		
	千葉県	32件	新潟県	17件	三重県	11件	岐阜県	5件	和歌山県	2件		
	長崎県	32件	広島県	16件	茨城県	10件	山梨県	5件	秋田県	1件		
	北海道	31件	愛知県	14件	岩手県	10件	石川県	4件	高知県	1件		

● はるみ歯科(宮城県)

夢みるこどもキャンペーン・協力歯科医院登録のお願い

夢みるこどもキャンペーンの詳細は、[ホームページ](#)をご覧ください。

* ホームページからのお申し込みはコチラ

PC

スマートフォン

携帯電話

QRコードから

TEL

基金事務局

<https://www.yumemirukodomo.jp>

夢みるこども基金

検索

☎092-400-0005

* FAXでのお申し込みはコチラ

住 所	〒		
医 院 名	ふりがな		
院 長 名	ふりがな		
T E L	()	—	
F A X	()	—	

*ご登録を頂きましたら、事務局から回収箱などをお送り致します。 *登録費、年会費はございません。

*定期回収は毎年秋ですが、補綴金属は随時受け付けています。少量でも結構です。

※金属の回収方法は裏表紙に掲載しております。



ご登録FAX番号▶

FAX:092-400-0339

※必要事項を記入のうえ、右のキリトリ線から切り取りFAXをお送りください。

定期理事会

夢みるこども基金の令和4年度定期理事会が5月20日、福岡市中央区の「ふくふくプラザ」401会議室で開かれました。

理事12人と監事2人、顧問税理士が出席。岡部知剛理事長（おかべ歯科医院院長）が議長を務めました。岡部氏は「ここ数年、新型コロナウイルスの影響で書面での定期理事会でしたが、今年は3年ぶりの対面での理事会となりました。皆様にも久しぶりにお会いでき、また新しい理事の方々にもご出席頂き、大変嬉しく感じます」と挨拶しました。

議事の第1部は役員改選で、常任理事に中澤剛氏（株）セブンイレブンジャパン・リスクマネジメント室総括マネジャー、元防衛省陸将補、菊池恩恵氏（株）コムネット代表取締役、NPO北東アジア交流協会理事）を選出しました。また、古市事務局長より「古川洋常任理事（元福岡放送専務取締役）から退任の申し出がありました。古川氏は基金の相談役として長年頼りにして来ました。これからもお力添えを頂きたいと思い、今後は『参与』として基金に留まって頂きたいと思っています」と提案があり、全ての人事案が承認されました。

この後、古市氏より令和3年度の活動報告と補綴金属の回収報告がありました。補綴金属は回収件数116件、総重量は26、240gで前年度を下回りましたが、回収した金属の内容が良かった事とロシアのウクライナ侵攻に伴う金属相場の上昇により、売却益は2300万円を超えました。理事の方々からは「金属相場はいつも良いとは限らないので、回収件数を上げなければいけない」「歯科医療現場では金属が減って来ている。今後の財源として、金属冠以外にも考えた方が良い」などの意見が出されました。



▲3年ぶりに対面で行われた定期理事会

議事の第2部では、吉田雅俊顧問税理士が令和3年度の収支報告書と貸借対照表を基に会計決算を説明し、森博己監事が「監査の結果、適正である」と報告しました。

その後、古市氏が令和4年度の事業計画を説明し、吉田顧問税理士が同予算案の基本金繰入について、資産が4000万円を超えたので、規約第6条（財産の管理）4に基づいて、基金の資産として1500万円を定期預金に組み替える」と説明し、どちらも承認されました。

今後の「こども会議」について、「こどもはICTに詳しい。次回からオンラインで開催してはどうか。予算も抑えられるなどの意見が多数出されました。これを受けて、次回のこども会議は冬休みに対面・オンラインのハイブリッド形式で開催する事になりました。

その他、今後の基金運営などについて、活発な意見が交わされました。様々な意見やアイデアを取り入れながら、これからもより良い活動をして行きたいと思っています。

人 事

※敬称略、50音順

理 事 長	岡 部 知 剛	おかべ歯科医院院長、日本歯科放射線学会専門医
	植 木 とみ子	福岡市民生事業連盟 統括施設長、元福岡市教育長（前記）
常 任 理 事	岡 部 知 剛	夢みるこども基金OB・OG会副会長、理学博士
	菊 池 恩 恵	（株）コムネット代表取締役、NPO北東アジア交流協会理事
▽ 再 任	岡 部 憲 和	（株）セブンイレブンジャパン・リスクマネジメント室総括マネジャー、元防衛省陸将補
▽ 新 任	中 澤 剛	西南学院大学名誉教授
▽ 新 任	中 島 和 男	東海旅客鉄道（株）勤務
理 事	中 原 淳 一	元読売新聞西部本社編集局部長、元スポーツ報知西部本社取締役編集部長
	古 市 悟	元学校法人西南学院 本部・大学宗教部事務室長
	安 藤 公 正	日立グローバルライフソリューションズ（株）九州支店勤務
	緒 方 亮 一	夢みるこども基金OB・OG会会長、歯科医師、歯学博士
	長 尾 伶 美	なかむら歯科こども歯科クリニック院長
	中 村 美穂子	夢みるこども基金OB・OG会監事、イオングループ小売店舗事業ミニストップ（株）勤務
	濱 屋 江 里	夢みるこども基金OB・OG会監事、全国農業協同組合連合会 勤務
	堀 江 健一郎	九州大学名誉教授
	森 山 日出夫	元日本通運（株）副社長
	山 田 英 夫	元日本通運（株）常務執行役員・九州ブロック地域総括福岡支店長
監 事	長 田 行 生	森博己税理士事務所所長
	森 博 己	古賀・花島法律事務所所長、元日本弁護士連合会副会長
顧問弁護士	古 賀 和 孝	吉田雅俊税務会計事務所所長、元西南学院常任監事、梅光学院監事、学校法人福岡女学院評議委員
	吉 田 雅 俊	元読売新聞西部本社論説委員・経済部長
顧問税理士	八 尋 晋 策	元（株）福岡放送専務取締役
	古 川 洋	（前記）
顧問	古 市 悟	
参与		
事務局長		

▽ 新 任